

運送・倉庫業 (ISO9001, ISO14001)

1. 業務特性

運送・倉庫業は、「安定した品質サービスを提供できる組織管理体制を確立し、顧客及び社会の信頼性を高めていくこと」が必要な業務である。

2. 導入・運用の手順・ポイント

1) ISO9001

【構築】

顧客(荷主)及び社会の期待・要求事項及び発生する可能性がある事故を明確にし、現状の管理体制・業務手順を分析し、見直しを行うことが必要になる。

【運用】

サービス品質の向上と業務の効率化・コスト削減を目指して、システムの継続的改善を行う。(ISOは、認証取得してからの各企業の自助努力の如何によって、その効果が発揮されるシステムです。)

2) ISO14001

同業種が環境に与える影響としては、例えば以下のようなものが考えられる。

- 輸送・保管に関わるもの(燃料やエネルギーの使用、包装・梱包材の使用など)
- 製品に関わるもの(製品の環境配慮性、消費者に渡った後の廃棄など)
- 活動に伴って発生する廃棄物

システムを構築する上では、これら为本業と切り離して考えるのではなく、本業の効率化やサービス向上と重ね合わせて進めることが効果的である。

業種別 マネジメントシステム導入ポイント

3. 導入効果の例

1) ISO9001の場合

導入・運用ポイント	業務上の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・管理体制・業務手順を明確にする。 ・システムを運用（継続的改善）する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム・ミスが少なくなる。 ・顧客の信頼を得ることができ、受注が増える。 ・従業員の意識・自覚が高まる。 ・顧客（荷主）・社会の満足度が向上する。 ・業務の効率化・コスト削減ができる。

2) ISO14001の場合

改善ポイント	環境上の効果	業務上の効果
<p>【輸送業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料使用量削減という観点から物流ルートを見直す。 	無駄な燃料使用が減り、排ガス発生量も削減できる。	燃料費のコスト削減ができる。また適切な物流ルートにより輸送効率化が図れる。
<p>【保管業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物削減という観点から保管状態を見直し、管理を強化する。 	保管時の破損や期限切れ等による廃棄物が削減できる。	廃棄となる商品が減り、コスト削減につながる。
<p>【商品選定業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮商品を優先的に取り扱うよう、選定方法を見直す。 	間接的にはあるが、商品製造時の環境影響を削減できる。	顧客に対して、企業としての環境配慮性をアピールでき、イメージ向上につながる。